平成１９年6月２１日

「ひらかた☆かたの　七夕伝説」をテーマに
各種イベントを実施します

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：佐藤茂雄）では、七夕伝説発祥の地として知られている枚方市内や交野市内を中心に「ひらかた☆かたの　七夕伝説」と銘打ち、沿線各地で七夕にちなんだイベントを実施します。

▲私市駅（昨年）

当社では、平成１６年７月から「七夕伝説」をテーマに様々なイベントを展開してきました。今年も、お客さま参加型イベント「七夕Ｓｔａｔｉｏｎ ２００７」や当社のイメージキャラクターである「おけいはん」と一緒に七夕を楽しむイベント、新たに制作する「織姫」「彦星」のヘッドマークを掲出した列車による一夜限りの「出逢い」など、沿線に点在する秘められたロマンや歴史をお客さまにＰＲし、沿線のブランド価値向上を図ってまいります。

さらに７月７日（土）には、「第１０回全国七夕サミット枚方･交野大会」（枚方市・交野市共催）が開催されるとともに、私市駅前を中心に「第３回　星のまち交野　天の川七夕まつり」（主催：天の川七夕まつり実行委員会）が開催されるなど、地域をあげて「七夕」ゆかりの地をＰＲします。

「第３回　星のまち交野　天の川七夕まつり」では、私市駅周辺を中心に「竹灯篭のみち」や「光のモニュメント」、「天の川満天ライブ」、「飲食・土産物コーナー」、「子どもゲームコーナー」などをお楽しみいただけます。なお、同会場では当社もオリジナルグッズの発売を行います。

「ひらかた☆かたの　七夕伝説」イベントの概要は別紙のとおりです。

（別　紙）

1．七夕 Station 2007

【日時】：受付・展示　平成１９年7月1日（日）～7日（土）

【場所】：京阪本線・鴨東線・交野線・宇治線全駅（ケーブル八幡市駅含む）

【内容】：上記全駅で願いごとを書いた短冊を受け付け、各駅に展示した笹に結んでいただけます。展示後、織姫をまつる「機物（はたもの）神社」に奉納します。

2．おけいはん七夕イベント（おけいはんと七夕を楽しもう！）

【日時】：平成１９年6月３０日（土）１３時～（約1時間の予定）

【場所】：ＫＵＺＵＨＡ　ＭＡＬＬ本館1階グランドアトリウム

【内容】：おけいはんこと、神農幸（じんの　さち）さんが、浴衣姿でトークショーを行うほか、音楽イベントやクイズ大会で七夕ムードを盛り上げます。

3．「七夕伝説ロゴ」ヘッドマーク掲出

【日時】：平成１９年7月1日（日）～7日（土）

【場所】：交野線内（枚方市～私市間）

【内容】：交野線を期間中走行する全列車に「ひらかた☆かたの　七夕伝説」のロゴをあしらったヘッドマークを掲出して運転します。

4．「織姫」と「彦星」の出逢い

【日時】：平成１９年7月7日（土）

１８：２２、１９：０３、１９：４２、２０：２１、２０：５８の5回

各４～９分間

【場所】：私市駅

【内容】：「織姫」「彦星」をデザインした新しいヘッドマークを制作します。

当日、私市駅１番線に「織姫」を掲出した臨時列車を約３時間停車させる一方、交野線内を折り返し運転する定期列車１編成に「彦星」を掲出することで、「織姫」と「彦星」のヘッドマークを掲出した列車が私市駅で並んで停車するという「出逢い」を演出します。

【備考】：当日は土休日ダイヤ実施のため、<u>*K*特急「おりひめ」と準急「ひこぼし」の運転はありません</u>。

【入場制限】：当日は、混雑が予想されますので、状況によっては入場制限をする場合があります。

５．七夕 Ｓｔａｔｉｏｎ　Ｌｉｖｅ　ｉｎ　Ｓａｎｊｏ

【日時】：平成１９年7月８日（日）　１１時～１６時３０分
【場所】：三条駅中央改札前コンコース
【内容】：エレクトーン演奏や駅スタッフ出演のプログラムを実施します。

６．七夕ウオーク　星のブランコ・星田妙見宮から逢合橋へ

【日時】：平成１９年7月７日（土）　９時３０分～１０時受付（小雨決行・荒天中止）
【場所】：私市駅前公園受付
【内容】：私市駅前から星のブランコ、降星伝説の残る星田妙見宮、天野川緑地など、星と七夕にちなんだコース設定となっています。
約１１ｋｍ／解散１５時頃（参加費無料）

（参　考）

枚方市・交野市域は、古くは交野ケ原と呼ばれ、同地には古来、百済寺を造営した百済王の一族をはじめとする渡来人によりもたらされた大陸の文化・風習の数々が伝承されてきました。そのひとつが織女（織姫）と牽牛（彦星）の七夕伝説で、エリア内には前者をまつる「機物神社（はたものじんじゃ）」や「牽牛石（けんぎゅうせき）」といった七夕伝説ゆかりの地にふさわしい名称を持つスポットがまさに星屑のように散らばっています。また、エリアを貫く「天の川（あまのがわ）」に架かる「逢合橋（あいあいばし）」には、１年に１度、七夕の夜、その橋上で織女と牽牛が出逢い、愛し合うという実にロマンチックなエピソードが語り継がれています。

以　　上